

## 笠岡市長から市民の皆様へのメッセージ

このたび、市内学校の教職員1名が、新型コロナウイルスに感染したことが確認されました。現時点において、保健所から児童、生徒、教職員に濃厚接触者はいないと連絡を受けています。

本市の判断で1月22日（土）、念のため接触の多かった教職員5名を対象にNEAR法で検査を実施し、同日、全員の陰性が確認されております。

また、校内の消毒は毎日行っておりますが、今回の件を受け、特に注意の必要な場所に関しては入念な消毒を実施済みです。

当該学校においては現段階で校内感染は発生していないものと判断しているため、通常どおり授業を行うこととしており、当該学校の保護者の皆さまには既に連絡をしています。

今後、市内学校に対して改めて感染予防対策の徹底を指示するとともに、安心して学校生活を送ることができるように、児童、生徒の体調管理、検温、マスク着用、手洗いや消毒等、学校と家庭が連携した感染防止対策を徹底していきます。なお、ご家庭におかれましても、健康観察及び感染防止対策の徹底を引き続きお願いします。

また、本日、笠岡市で206、207、208、209例目の計4名が新型コロナウイルス感染症の新規感染者であると確認されました。本市では、1月に入り既に41名の感染が確認されています。

昨日の岡山県の新規感染者数は4日連続で過去最多を更新しており、感染状況の悪化から、岡山県は政府に「まん延防止等重点措置」の適用を要請しています。今後、政府との協議を経て正式に決定されますが、本市を含め県内全域を措置区域とし、様々な制限や要請がなされることが想定されており、非常に厳しい状況となっております。

県内では子どもの活動拠点である、保育施設や、学校、部活動などでクラスターが発生し、10代までの感染者が顕著に増えています。現時点では重症化しにくい若者中心の感染ですが、爆発的な感染拡大により、高齢者の感染が増加すると、入院する割合が高くなり、医療体制がひっ迫する可能性があるため注意が必要です。

オミクロン株は感染力が従来株より約3倍強いと報告されており、1人でも感染が確認されると、家庭、事業所、学校内などでクラスターが発生する可能性が非常に高くなります。発熱やせき、喉の痛み、倦怠感など少しでも体調が悪い場合、かかりつけ医や岡山県新型コロナウイルス受診相談センター（備中保健所井笠支所：0865-69-1675）に相談してください。

市民の皆さまにおかれましても、一刻も早く感染が収束するよう、これまで同様に感染予防対策の徹底をお願いします。

令和4年1月23日  
笠岡市長 小林嘉文

笠岡市教育委員会  
教育長 岡田達也